

生まれも育ちも旭川の私が、どういう訳か港を整備する事務所に配属となったのが37年前のことです。海を見たことも少なく、ましてや船に乗った経験もほとんどなかった私は、海洋調査での船酔いにずいぶんと苦しみました。これも今となっては良い思い出です。

そんな私が技術士の資格を取得したのは10年前45歳の時でした。受験のきっかけとなったのは1級土木施工管理技士試験の合格でした。工事の監督を担当することが多かった私は、現場代理人が必要とする資格なのであれば、監督員も持つべきと思い、1級土木の試験に挑戦しました。運良く？合格すると、技術士1次試験の共通科目(数学、物理学など)が免除になることを知りました。工業高校出身の私が大卒レベルの数学や物理学などいくら勉強しても無理だと思っていたから、これが免除というのはとても救われた気持ちになり、1級土木に合格した翌年すぐに1次試験を受験しました。これまた運良く合格できたのですが、ここから苦しみました。2次試験の解答は論文形式だったからです。多くの先輩技術士の方々に添削指導、助言をいただき、3年がかりでなんとか建設部門に合格することができました。ご指導してくださった先輩技術士の皆さんには感謝の気持ちで一杯です。その2年後には水産部門も合格できました。公共事業の工事、業務は価格競争から総合評価やプロポーザルが主流に変化してきており、その評価を担当する立場になった今、この資格によって透明性と客観性を確保したいと思っています。また、このエンブレムで関係者の皆さんから信頼されるようになれたらいいなとも思っています。今後も海系の技術士を増やすべく、お手伝いしていきたいと思っています。

飯田 誠(いいた まこと)

- 建設部門(港湾及び空港)
- 水産部門(水産土木)

勤務先

北海道開発局 釧路開発建設部
釧路港湾事務所



→次号は、田川人士さん(建設部門)